

研究情報公示用ポスター

「エピジェネティクスを含む多階層の心房細動リスク因子予測」へご協力いただく方へ

本学では下記の臨床研究を予定しております。

(1) 研究の概要について

研究題名：エピジェネティクスを含む多階層の心房細動リスク因子予測

承認番号：I2024-033

研究期間：研究実施許可日～2027年3月31日

本学での研究責任者：東京科学大学 疾患バイオリソースセンター 高橋健太郎

(2) 研究の意義・目的について

心房細動の発症しやすさや重症度には「遺伝的な要因」や「環境的な要因」、「後天的な要因」がかかわっていると考えられています。その「遺伝的な素因」として、ヒトの遺伝子には個人ごとに少しずつ違っている遺伝子「多型」や「変異」がたくさんあります。これまでの研究によって、心房細動に関係する遺伝子多型や変異が確認されてきました。

また近年 DNA 自体が、化学的に構造が変わることが知られていて、このような変化も病気の原因になることが知られています。そこでこの研究では以前の研究に継続して、DNA 自体の変化も観察し、心房細動との関係を調べます。

(3) 研究の方法について

先行研究である、「心房細動と合併する脳梗塞予防のプレジジョン・メディシン」(02019-006-10)で採取させていただいた DNA を用いて、DNA の「メチル化」という変化している部分を調べます。そして、その結果を同じ研究で取得した診療情報と比べて解析します。具体的には、取得した臨床情報(性別、年齢、血圧、BMI、総コレステロール、HDL コレステロール、Non-HDL コレステロール、GFR、血糖、喫煙、飲酒、冠動脈疾患、心雑音、心不全、脳卒中)や SNP 解析、心電図解析の結果を二次利用し、この研究の DNA メチル化の結果と組み合わせます。

(4) 試料等の保管と、他の研究への利用について

本学で遺伝子解析に用いるゲノム DNA は引き続き本学疾患バイオリソースセンターの鍵付き冷蔵庫に保管します。研究終了後のおおもとの研究に合わせて、試料・情報は 10 年間、保管します。この研究で得られたデータを、将来関連する循環器疾患の研究に二次的に利用する場合があります。その際は新たに研究計画書を作成し、別途倫理審査委員会の承認を受けて実施します。

(5) 研究協力の任意性と撤回の自由について

この研究で DNA の解析に自分の DNA を使ってほしくない方は下記研究者連絡先へご連絡ください。研究への不参加または協力の撤回に伴い、何らかの不利益を受けたりすることは一切ありません。

この研究計画を倫理審査委員会が承認し、大学の許可を得て実施しております。大学の許可から 1 か月後から試料・情報を利用いたします。

(6) この研究の資金について

本学においては東京科学大学疾患バイオリソースセンター(疾患多様性遺伝学分野)運営費により実施されます。本研究を実施するにあたり特定企業との利害関係はありません。研究の実施にあたっては、本学利益相反マネジメント委員会に対して研究者の利益相反状況に関する申告を行い、同委員会による確認を受けています。

※利益相反とは、研究者が企業など、自分の所属する機関以外から研究資金等を提供してもらうことによって、研究結果が特定の企業にとって都合のよいものになっているのではないか・研究結果の公表が公正に行われないのではないかなどの疑問が第三者から見て生じかねない状態のことを指します。

(7) 研究により得られた結果等の取扱い

本研究の結果が対象者の診療などに直ちに影響するものではないため結果説明は行わない。

(8) 研究体制について

この研究の実施体制は以下の通りです。

① 研究責任者

東京科学大学 疾患バイオリソースセンター 高橋健太郎

研究立案、試料・情報の管理責任、DNA 解析

② 研究分担者

疾患バイオリソースセンター 教授 田中敏博 研究立案、DNA 解析

循環制御内科学 教授 笹野哲郎 研究立案、DNA 解析

先進倫理医科学 講師 江花有亮 研究立案

疾患多様性遺伝学分野 大学院生 PALA MUHAMMED YASIN DNA 解析

疾患多様性遺伝学分野 大学院研究生 LIU SICHENG DNA 解析

(9) 本学での問い合わせ先

研究者連絡先：東京科学大学

〒113-8510 東京都文京区湯島 1-5-45

疾患バイオリソースセンター 助教 高橋健太郎

TEL：03-5803-5230（対応可能時間 平日 9:00～17:00）

苦情窓口：東京科学大学研究推進部 研究基盤推進課 生命倫理グループ

TEL：03-5803-4547（対応可能時間帯：平日 9:00～17:00）